

## 5 国分寺崖線景観形成重点地区

### （1）建物などの色彩の現況

- ・野川や入間川に沿って連なる斜面緑地と調和する暖色系の色相の低彩度色を基調とした小規模の住宅系の建物が多く、落ち着いた景観を形成しています。
- ・つつじヶ丘駅周辺や甲州街道沿いの共同住宅などには明るい色彩の建物もあります。
- ・国分寺崖線は市域の東西方向に連続しているため、遠景及び近景の視点から景観形成を考える必要があります。
- ・地区内で周辺に寺社や旧跡などの歴史文化資源などがある場合は、天然素材の経年変化による古色など、低彩度の色彩を基本とし、落ち着いた風情に配慮する必要があります。



国分寺崖線の緑が建物の背景として連続する遠景



市民の憩いの場として人気の高いかに山など、場所ごとで様々な景観をつくる国分寺崖線の緑の近景

(2) 色彩基準

色彩基準の考え方

- ・外壁基本色は、背景となる国分寺崖線の緑にとけ込み、周囲の街並みに違和感なく調和する、暖色系の色相を基本に、極端に明るい色調を避けた彩度を抑えたものとしています。
- ・屋根色は、周囲の自然や街並みから突出しないよう、明度や彩度を抑えた色彩としています。

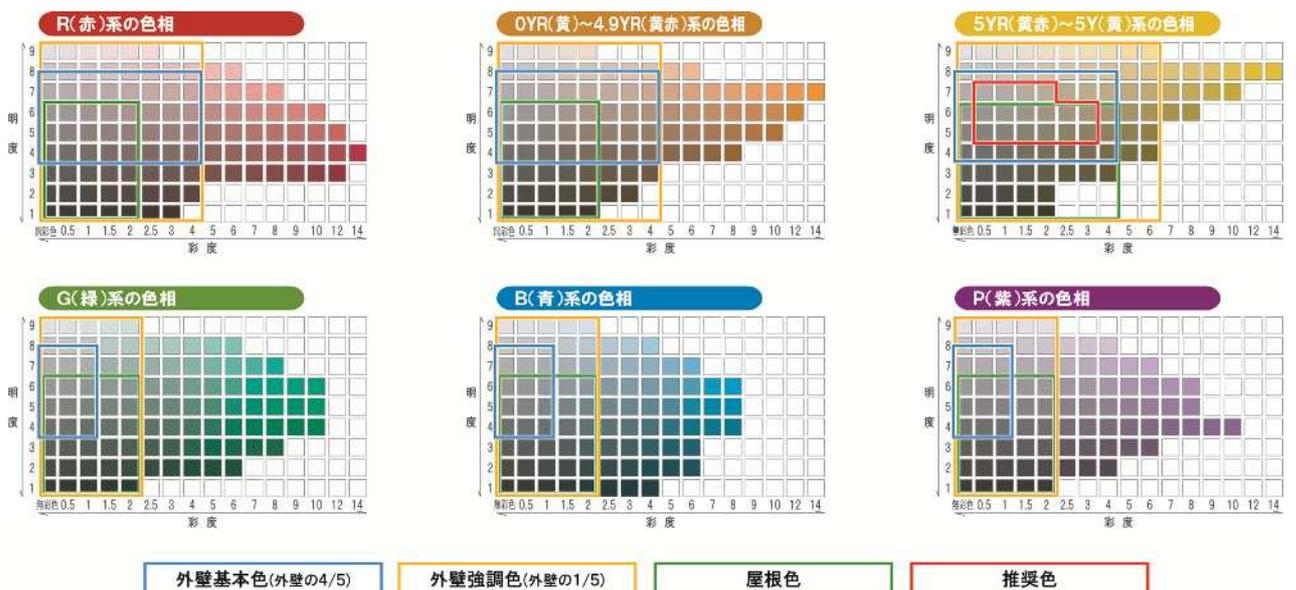
届出対象行為

行為	規模（以下のいずれかに該当するもの）
建築物の新築等	高さ 10m又は延べ面積 500㎡
工作物 の新設等	下記以外の工作物：高さ 10m又は築造面積 1,000㎡ 擁壁：全てのもの 墓園など：区域面積 500㎡

工作物とは、建築基準法施行令第138条などに規定されるもののうち、一定のものとしてします。

色彩基準による使用可能色等の範囲

外壁基本色			外壁強調色	屋根色（勾配屋根）	
色相	明度	彩度	彩度	明度	彩度
OR～4.9 YR	4以上 8.5未満	4以下	4以下	6以下	2以下
5.0YR～5.0Y			6以下		4以下
その他		1以下	2以下		2以下



### （3）推奨色（外壁基本色）

#### 推奨色（外壁基本色）の考え方

国分寺崖線の自然環境を引き立たせ、調和させることにより、景観形成重点地区にふさわしい色彩誘導を図ります。推奨色は、Y R（黄赤）やY（黄）系の色相の中明度、低彩度を中心に選定しています。また、本地区は、深大寺通り周辺地区に比べ、届出対象建築物の規模が大きく、かつ用途も多様であることから、深大寺通り周辺地区より、明度は暗さを抑え明るい範囲を広げています。

#### 推奨色（外壁基本色）の範囲

推奨色（外壁基本色）		
色相	明度	彩度
5.0YR～5.0Y	5 以上 6 以下	0.5 以上 3 以下
	6 超 7 以下	0.5 以上 2 以下



### （4）景観形成イメージ

**建物などの外壁：**周辺の緑を引き立てる Y R（黄赤）や Y（黄）系の色相の中明度、低彩度を基調としましょう。

**建物などのアクセント：**鮮やかな色彩は必要最小限に抑え、落ち着いたある中彩度のものを選びましょう。

